

社会の具体的な問題の解決や科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題(ELSI)への対応に資する社会技術の研究開発を推進しているRISTEXは、学際研究/共創型研究を進めるうえでヒントとなる情報を発信・共有するための総合知オンラインセミナーを開催しています。第6回は、哲学にフォーカスをあて、北海道大学 大学院文学研究院 教授/人間知・脳・AI研究教育センター長 田口茂氏をゲストにお迎えし、異分野融合において「哲学者」が果たしうる役割についてご講演いただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 第6回

### RISTEX総合知オンラインセミナー 「学際研究/共創型研究のすすめ」

異分野融合において「哲学者」が果たし  
うる役割： 数学・認知科学・神経科学・  
ロボティクスとの共同研究の実践から

2023年12月20日(水)  
17:15~18:15  
オンライン開催

主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)  
社会技術研究開発センター(RISTEX)

対象：

- ①学際研究/共創型研究に関心がある研究者
- ②研究推進に携わるURA、大学・研究機関・民間企業等の職員、省庁・助成団体関係者等

参加お申込はこちら：

[https://form2.jst.go.jp/s/ristex\\_seminar\\_20231220](https://form2.jst.go.jp/s/ristex_seminar_20231220)

申込締切：12月19日(火)13:00

定員：300名(無料・先着順)

お問い合わせ：r-info-event@jst.go.jp



【講師紹介】田口茂(北海道大学 大学院文学研究院 教授/人間知・脳・AI研究教育センター長)  
専門は、西洋近現代哲学(特に現象学)。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了、同研究科博士後期課程、早稲田大学第二文学部助手を経て渡独、ヴッパータール大学哲学科博士課程修了(Dr.phil.)。山形大学地域教育文化学部准教授、北海道大学大学院文学研究科准教授を経て、現職。主に自我・自己論、間主観性論、明証(evidence)論に取り組んできたが、近年は神経科学・数学・ロボティクス・認知科学の研究者と共同で「意識」の学際的研究に取り組んでいる。著書 *Das Problem des 'Ur-Ich' bei Edmund Husserl* (Springer 2006年) / 日本語版：『フッサールにおける〈原自我〉の問題』(法政大学出版局 2010年)は国際的に高く評価され、多数の文献に引用されている。

